

令和元年6月24日現在

機関番号：34404

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2014～2018

課題番号：26380491

研究課題名(和文) 高度専門職の需給逆転が職務と組織への関わり方に与える影響の実証研究

研究課題名(英文) Empirical Study on the Effects of the Reversal in Supply and Demand for Highly Skilled Professionals on Involvement in Duties and Organizations

研究代表者

遠原 智文 (TOHARA, Tomofumi)

大阪経済大学・経営学部・准教授

研究者番号：50369930

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の目的は、労働市場における需給バランスの逆転が、高度専門職の組織に対する関わり方(及び企業の経営管理手法に与える影響)を実証的に明らかにすることである。具体的には、一級建築士では、建築会社に所属する一級建築士へインタビュー調査を通じて、その需給状況と所属企業に対する認知および職場継続意思の形成要因について分析を行った。中小企業診断士では、主として企業内診断士に対するインタビュー調査とアンケート調査を通じて、彼らのキャリア志向と職務満足について分析を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

優秀な外国人の人材を日本に呼び込むために、高度人材に対するポイント制による出入国管理上の優遇措置が導入されている。また、働き方改革の一環として、高度な専門知識を保有する労働者に対しては、時間ではなく成果で給与を支払うというような、働き方の自由度を高めた、高度プロフェッショナル制度も新設された。本研究は、こうした企業に所属する高度専門職のキャリア志向とその職務満足の関係について解明したものである。よって、働き方改革時代における企業内高度専門職のキャリア・マネジメントの在り方について資するものであり、学術的にも実社会的にも一定の貢献をしているといえる。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this study is to empirically clarify the effects of the reversal in the supply-and-demand balance of the labor market on the involvement of highly skilled professionals in organizations (and the effects on the business-management methods of companies). More specifically, regarding first-class architects, we conducted an interview-based survey of such architects who are employed by construction companies in order to analyze the architects' perception of the supply-and-demand situation and their companies as well as formative factors related to their intention to remain employed. Regarding small and medium enterprise management consultants, we conducted interview and questionnaire-based surveys mainly focusing on in-house management consultants in order to analyze their career orientation and job satisfaction.

研究分野：経営学

キーワード：高度専門職 中小企業診断士 一級建築士 職務満足 コミットメント キャリア志向 副業 兼業

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

本研究グループは、薬剤師等を研究対象として、高度専門職の職務満足と経営管理に関する基礎的な質的・量的研究を進めてきた。この一連の研究を通じて、彼らの職務満足は、自身の専門職務に従事することで得られるケース(職務コミットメント)と、組織内でマネジャーとして影響力を行使することで得られるケース(組織コミットメント)に着目する必要性を示した。加えて、不正行為に対する許容度など、職務満足の源泉の差異が彼らの勤務態度に影響を及ぼすことを実証した。原因としては、たとえば転職が困難(容易)であるなど、組織に所属し続けることのコスト・ベネフィットを強く意識している(していない)高度専門職は、「職務」(組織)にコミットすることよりも「組織」(職務)にコミットする意識の強いことなどが考えられた。労働市場における需給バランスの逆転(変化)は、職務 組織コミットメントに関する意識に影響を与える可能性が高い。その場合、彼らの行動様式にも一定程度の変化が生じると予想された。

以上のことから、本研究グループでは、これまでの研究を基に、高度専門職の職務満足の源泉に影響を及ぼす要因を抽出し仮説を立てるため、申請に先立つ過去2年、薬剤師や調剤薬局企業の経営者に複数回のヒアリング調査を行った。その調査の結果として、労働市場における需給バランスの逆転(変化)に伴い、高度専門職の職務満足の源泉が職務 組織コミットメント間において一定程度的影響を受ける、職務満足の源泉に差異が生じる背景には、彼ら自身の高度専門職としての力量(勉強量や経験等)、ならびに今後の労働市場の動向に対する個人的認識が作用している、高度専門職の組織に対する関わり方(勤務態度等)が変化する、高度専門職に対する企業側の経営管理手法が変化する、という4つの仮説を得た。そこで、本研究では、企業組織に所属する高度専門職を対象に、これらの仮説に対する実証研究を行うこととした。

2. 研究の目的

本研究は、労働市場における需給バランスの逆転が、高度専門職の組織に対する関わり方、及び企業の経営管理手法に与える影響を実証的に明らかにすることを目的としている。これに際して、体系的な知識を長期間学ばないと就けず、プロフェッショナル志向が高い職種を高度専門職と位置づける。本研究では特に、「供給過剰 供給不足」と「供給不足 供給過剰」のプロセスにある2業界に着目した。先行研究に基づいて、高度専門職の「職務」・「組織」に対するコミットメントが組織行動に与える影響、職務満足の源泉、について分析する。アンケート調査に基づく実証研究とヒアリング調査に基づく質的研究によってデータを蓄積し、最終的に、需給バランスの動向に応じて高度専門職を適切に管理する経営管理モデルの構築を目指した。

3. 研究の方法

本研究では、需給バランスの変化を所与の条件とし、文献調査による理論研究を行った。これに並行して、需給の逆転局面にある業界企業で働く高度専門職・経営陣を中心に質的調査を実施し、データ蓄積やアンケートの精緻化もはかった。その後、高度専門職に量的調査(予備・実証研究)を行い、需給バランスの逆転(変化)とコミットメント・勤務態度・職務満足・管理手法との関係性を明らかにした。

4. 研究成果

ここでは、本研究において、新しく調査対象とした一級建築士と中小企業診断士に関する研究成果について述べる。

一級建築士は、需給状況と所属企業に対する認知などについて、以下のように捉えている。需給の認知では、現在の労働市場は売り手市場である。自社と所属企業に対する認知では、自身の価値は高いと認知しているが、やや控えめな評価をしている。転職の意識は低く、所属企業の価値をそれなりに評価している。キャリア志向では、コスモポリタンやプロフェッショナル志向にみられる専門集団への準拠や社会的評価の意識はなく、専門職へのこだわりがかなり強い。ただし、ローカルや組織人志向は否定されない。熟練10年ルールは存在すると推定される。

また一級建築士の職場継続意思の形成要因では、以下のようなことが明らかとなった。まず「仕事に対する肯定的感情」が「職務満足」に強い影響力を与え、それが転職意識を形成させるべくする要因となる。しかも、「仕事に対する肯定的感情」の形成には、「専門能力を発揮する機会」の提供が不可欠であることから、このような機会の提供が、「仕事に対する肯定的感情」を生み、転職意思の形成を妨げることに繋がっている。

一方、中小企業診断士のキャリア志向と職務満足については、以下の3つのことが明らかとなった。第1に、独立診断士と企業内診断士のキャリア志向の分布には、一定の類似性がある。具体的に言うと、ある程度以上の年収では、「奉仕・社会貢献(何らかの形で世の中をもっと良くしたいという欲求に基づいて、キャリアを選択し、自らの価値観を仕事の中で体現化する人々)」、「起業家的創造性(自らの手で新しい成果を生み出すことを試してみたいという欲求を保有する起業家的な人々)」、「純粋な挑戦(専門分野にこだわらずに、自己を試す機会として、挑戦的な仕事に携わることを重視し、不可能と思えるような障害・問題の克服・解決、難敵へ

の勝利に価値を見出す人々)」の割合が多い。

第2に「奉仕・社会貢献」、「起業家的創造性」の企業内診断士は、現在の仕事内容と処遇に対して満足していない。

第3は、企業内診断士では、「年収の多寡」が「専門能力発揮の機会」よりも職務満足に大きく影響している。よって、収入の維持のために所属先は辞めない(辞められない)ものの、中小企業診断士として社会(社外)で能力を発揮したいと考えている企業内診断士は、眠れる(埋もれる)資源(資産)となっている。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計12件)

遠原 智文, 中小企業診断士のキャリア志向と職務満足, 日本中小企業学会論集, 査読有, 36, 2017, 109-121

遠原 智文, 前田 卓雄, 眠れる資源としての企業内診断士, 日本政策金融公庫論集, 査読なし, 35, 2017, 51-60

遠原 智文, 三島 重顕, 前田 卓雄, 中小企業診断士の現状と課題, 経営経済, 査読なし, 51, 2016, 69-81

前田 卓雄, 遠原 智文, 三島重顕, 建設会社に所属する一級建築士の職場継続意思の形成要因: A社のインタビュー調査を通じて, 流通科学研究, 査読有, 15(1), 2016, 67-83

本間 利通, 薬剤師の役割コンフリクトと組織コミットメント, 大阪経大論集, 査読なし, 65(4), 2015, 99-106

三島 重顕, 高度専門職の需給状況と雇用管理に関する一考察: 薬剤師に対するインタビュー調査から, 大阪経大論集, 査読なし, 66(1), 2015, 87-101

前田 卓雄, 遠原 智文, 三島 重顕, 高度専門職の需給状況と所属企業に対する認知に関する研究: 建設会社に所属する一級建築士へのインタビュー調査から, 流通科学研究, 査読有, 15(1), 2015, 67-83

〔学会発表〕(計13件)

遠原 智文, 中小企業診断士のキャリア志向と職務満足, 日本中小企業学会, 2017

本間 利通, 薬剤師の疑義照会と組織・職業コミットメント, 日本経営学会, 2016

前田 卓雄, 遠原 智文, 三島 重顕, 建設会社に所属する一級建築士の職場継続意思の形成要因: A社のインタビュー調査を通じて, 経営行動研究学会, 2016

前田 卓雄, 遠原 智文, 三島 重顕, 高度専門職の需給状況と所属企業に対する認知に関する研究: 建設会社に所属する一級建築士へのインタビュー調査から, 日本経営学会, 2015

MISHIMA Shigeaki, HOMMA Toshimichi, MITSUISHI Takashi, Organizational Commitment and Ethical Cognition Among Retail Pharmacist in Japan, IISES Reykjavik 11th Academic Conference, 2014

〔図書〕(計1件)

6. 研究組織

(1)研究分担者

研究分担者氏名: 前田 卓雄

ローマ字氏名: (MAEDA, Takao)

所属研究機関名: 中村学園大学

部局名: 流通科学部

職名: 教授

研究者番号(8桁): 80719245

研究分担者氏名: 三島 重顕

ローマ字氏名: (MISHIMA, Shigeaki)

所属研究機関名: 大阪経済大学

部局名: 経営学部

職名: 准教授

研究者番号(8桁): 60454930

研究分担者氏名: 本間 利通

ローマ字氏名 : (HOMMA, Toshimichi)

所属研究機関名 : 大阪経済大学

部局名 : 経営学部

職名 : 准教授

研究者番号 (8桁) : 90461128

研究分担者氏名 : 浦川 邦夫

ローマ字氏名 : (URAKAWA, Kunio)

所属研究機関名 : 九州大学

部局名 : 経済学研究院

職名 : 准教授

研究者番号 (8桁) : 90452482

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。